

ハートのまちを広げた なんじい

4つの町村が合併して誕生した南城市。その地形は、上空から見ると見事なハートの形をしています。この特徴をまちの個性として育て、市民の一体感づくりに一役かったのが、南城市の公式キャラクター「なんじい」です。

ハートのおひげが印象的な、親しみやすいおじいちゃん。2011年に市の公式キャラクターとしてデビューしたなんじいは、市内のイベントや広報活動などに登場し、瞬く間に市民の人気者となりました。

子どもから大人まで親しまれるその姿は、南城市を象徴するアイデンティティのひとつとなっています。

なんじい



ハートロゴ



那覇市国際通りをなんじいがジャック！（2014年）



コンビニのCM出演に挑戦（2013年）



知念小であいさつ運動（2014年）



ゆるキャラグランプリ出馬（2015年）



ハートの日 SDGs マルシェ（2025年）



結婚記念証

ナンバープレート



「ハートのまち」としての歩み

南城市では、なんじいの活躍とあわせて、独自の結婚記念証やオリジナルナンバープレートを制作し、暮らしの中で「ハートのまち」を感じられる工夫を展開。さらに、8月10日を「南城市市民平和の日（ハートの日）」に制定し、2015年には「ハートのまち南城市」を宣言しました。

ハートは、まちの形だけを表すものではありません。助け合い、思いやり、平和を大切に作る心。南城市は、そんなハートフルなまちづくりを目指しています。

こころ、つなぐ。

地域のこころを受け継ぐ ムラヤー

南城市では、第2次総合計画の指針として「ムラヤーを主体とした、自然と文化を継承する福寿のまちづくり」を掲げています。

ムラヤーとは、琉球王国時代に地域を管理するために置かれた行政機関に由来する言葉で、現在では公民館を中心とした地域づくりの拠点として位置づけられています。

市全体として人口が増加する一方で、新しい住民が増える地域では、住民同士のつながりづくりが課題となっています。また、人口減少や高齢化が進む地域では、伝統行事や地域文化をどのように受け継いでいくかが大切なテーマになっています。

こうした中、南城市では地域の拠点となるムラヤーの整備を進めるとともに、「なんじょう市民活動支援センター」を通して地域コミュニティの活性化を支援しています。ムラヤー学習会や地域コミュニティ計画の策定支援、ムラヤー活性化スタートアップ支援などを通して、世代を超えて人が集まる取り組みが広がっています。

ムラヤーは、地域の人が集い、語り、支え合う場所。自然や文化を受け継ぎながら、これからの地域のつながりを育てる大切な拠点です。



“ムラヤーをもっと身近に”をテーマに、公民館などの地域拠点でベビーマッサージや親子を対象にしたイベントなどを展開中。



自治会長や区長を対象にした「ムラヤー学習会」

ムラヤーを支える施設整備



津波古公民館（2011年完成）



安座真ムラヤー（2015年完成）



前川ムラヤー（2016年完成）



知名ムラヤー（2017年完成）

4つの町村がひとつになって誕生した南城市。

ハートの形をしたまちは、「なんじい」や「ハートのまち」の取り組みを通して、市民の一体感を育んできました。

そして地域では、ムラヤーを拠点に、人と人、世代と世代をつなぐ活動が広がっています。

市全体をつなぐシンボルと、地域に根ざしたつながり。南城市は、心の通うまちづくりを進めています。